SYSTEM CONTROLLER

APT−CBP9D
取扱説明書

＊本説明書では右のような絵表示を使用しています。

絵表示の例	
⚠	警告、注意を促す絵表示です
	行為を指示する絵表示です
	行為を禁止する絵表示です

T001M-005-0

システムコントローラーご使用の前に

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をお読みのうえ、本機コントローラとカメラ内蔵型
旋回台（ドームカメラ）が正しく結線されていることを確認して正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

はじめに

本機はＤＭＰ－１２２３、ＤＭＰ－１２３５ドーム型カメラ内蔵型旋回台（以下カメラと省略）
専用のコントローラです。従って指定のカメラ以外には、使用することができません。
本機は、カメラを最大９台まで接続して動作制御、映像切換えをすることができます。
カメラのパン・チルト動作、レンズ部分のズーム及びフォーカス操作が簡単に出来、各カメラに
最大６４箇所のプリセットポイントと４箇所のアラームポイントを記憶して呼出すことが可能です。
ご使用におきましては、カメラの取扱説明書もご確認の上ご利用下さい。
カメラ動作制御のみの場合は､最大３１台｡このときは､別途映像切換機等で映像を切換えて下さい。
また、日立製作所製デジタルレコーダー（以下ＤＶＲと省略）と接続（ＲＳ－２３２Ｃ）すると
最大１６台まで映像切換えができます。

目次

１．使用上の注意

⚠ 警告

次の注意事項を守らないと、感電、火災などの重大な事故の原因となります。

装置に水をかけたり、装置に水がかかるような状況での使用はしないでください。
ショート、感電の原因となります。

本機付属のＡＣアダプタ以外使用しないでください。
火災や感電のおそれがあり、本機故障の原因ともなります。

本体を分解しないで下さい。
故障の原因となります。

⚠ 注意

次の注意事項を守らないと、けがをしたり物損事故の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると感電の原因となることがあります。

水や異物が入ると、火災の原因となることがあります。万一水や異物が入ったときは
すぐに使用を中止して、販売店にご相談してください。

万一、異常や故障にお気付きの時は使用を中止し販売店にご連絡ください。
そのまま使用しますと故障の範囲を大きくしたり、不慮の事故につながる可能性があります。

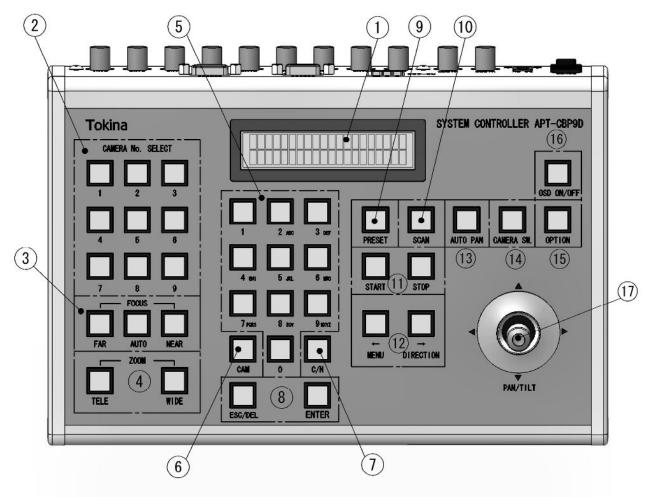
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

２．付属品

本機ご購入の際、以下の付属品がございますのでご確認ください。

１．取扱説明書（本誌）
２．取扱説明書（安全編）
３．ＡＣアダプター
４．電源コード
５．保証書

３． 各部の名称と機能

３－１操作パネル

① 液晶表示部　　　　　　：現在のモードや選択項目、操作メニュー等の表示部です。
② カメラ番号選択ボタン　：制御したいカメラ及び映像に切換えます。

③ カメラフォーカスボタン：FAR フォーカスのマニュアル動作時、フォーカスを遠ざけます

AUTO フォーカスをマニュアル又はオートに切換えます

NEAR フォーカスのマニュアル動作時、フォーカスを接近させます。

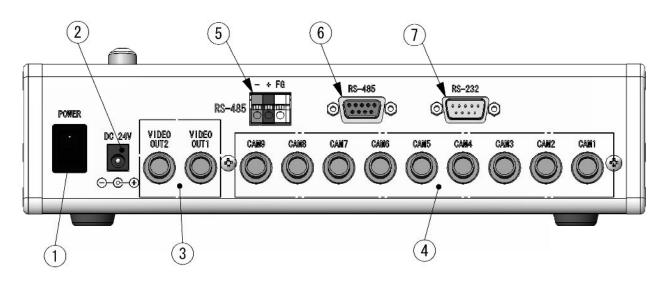
④ カメラズームボタン　　：TELE ズームを望遠側にします

WIDE ズームを広角側にします

⑤ 数字キー（英字）　　　：０～９の数字、プリセット番号等を入力する時に使用します。
映像タイトル設定時英字を入力するときに使用します。
⑥ CAM(CAMERA)ボタン　　：カメラを１０台以上使用する場合の２桁のカメラ番号選択する
ときに使用します。
⑦ C/N(英字/数字)ボタン　：各カメラの映像タイトル挿入時に数字と英字の入力切り替えをする
ときに使用します。

⑧　ESC/DEL・ENTER ボタン　：ESC/DEL 間違って入力したときの訂正や、一つ前に戻るときに使用します。
ENTER 入力した数字の確定や設定の記憶、動作の実行開始の時に使用します。
⑨　PRESET ボタン　：プリセット機能のとき使用します。
⑩　SCAN ボタン　：プリセットポイントの自動巡回動作をしたいときに使用します。
⑪　START・STOP ボタン　：START オートパン・スキャン等の動作開始の時に使用します。
：STOP オートパン・スキャン等の動作を一時停止するときに使用します。
⑫　MENU DIRECTION ボタン　：←・→メニュー選択の時に使用します。
⑬　AUTO PAN ボタン　：オートパン機能の時に使用します。
⑭　CAMERA SW ボタン　：映像の自動切換え（映像スイッチャー機能）をするときに使用します
⑮　OPTION ボタン　：映像タイトル設定やその他オプション機能使用する時に使用します。
⑯　OSD ON/OFF ボタン　：モニターのオンスクリーン表示・非表示を切換える時に使用します。
⑰　ジョイスティック　：旋回台の上下左右旋回を制御します。また、傾ける角度でスピードコントロールが可能です。浅く倒すとゆっくりと、深く倒すと速く旋回します。

⚠注意：ボタンの操作は、ゆっくりと確実に行って下さい

３－２背面パネル

①　電源スイッチ　：本機の電源の入／切をするスイッチです。
②　ＤＣジャック　：添付ＡＣアダプターのプラグを接続します
③　VIDEO OUT 端子　：選択したカメラの映像を出力する端子で同一映像が出力されます。
④　VIDEO IN 端子　：カメラの映像信号を入力する端子です［９系統］
⑤、⑥　RS-485 信号入出力端子：旋回台のＲＳ－４８５端子と接続します。
結線のしやすいどちらか一方をご使用ください。
⑦　RS-232 信号入出力端子　：日立製作所製デジタルレコーダーを制御するときに使用します。
対象機種：DS-G350、DS-G250
（２１ページ　１０．ＤＶＲの映像を切換える機能。）

４．電源投入時の初期状態について

電源スイッチをONにして電源を投入すると、数秒後、次の初期設定がされます。

① 接続されているカメラ全部の通信チェックを行っています。
　このとき液晶表示部上段には「ツウシンチェック」
　下段には「シバラクオマチクダサイ」と表示されます。
② カメラ番号はＮｏ．１を選択（液晶表示部左上段にＣＮ．０１と表示します）
③ FOCUSはAUTO（自動）に設定されます（液晶表示部下段右端にＡＦと表示します）が、
　カメラの状態によりAUTO（自動）ではない場合があります。
　AUTO（自動）にする場合は５－３項を参照してください。

５．カメラ操作

５－１　制御したいカメラに切換える

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（左側ダイレクト選択ボタン）
１０台以上接続された場合は［CAM］ボタンを押しながら本体中央の数字キーを押し、
［ENTER］ボタンを押して切換えてください。（１～３１番まで選択可能です）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます。

⚠注意１：［ENTER］ボタンで決定するまで［CAM］ボタンは押したまま離さないでください。
ボタンを途中で離しますとそれまで入力された数字がキャンセルされます。
⚠注意２：１０台目以上を選択すると、本機では映像切換えが出来ないため
VIDEO OUT １，２から映像は出力されません。
１０台目以上の映像を切換え出力したい場合は、別途スイッチャー等の機器をご用意していただき機器の手動操作にて切換えを行って下さい。

５－２　フォーカスを手動(MANUAL)で制御する

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦［STOP］　ボタンを押してから

［NEAR］ボタンまたは［FAR］ボタンを押して調整してください。

①液晶表示部がＡＦ（AUTO FOCUS）表示のとき
・・液晶表示部がＭＦ（MANUAL FOCUS）表示になります。
②液晶表示部がＭＦ表示のとき
・・液晶表示部がＭＦ表示です。

５－３　フォーカスを自動（ＡＵＴＯ）に設定する

CAMERA No.１～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます。
カメラが動作している場合は一旦STOPボタンを押してから

①液晶表示部がＭＦ表示のとき
AUTO ボタンを１回押す
・・液晶表示部がＡＦになりオートフォーカス設定となります

②液晶表示部がＡＦ表示のとき
AUTO ボタンを２回押してください
・・液晶表示部がＡＦになりオートフォーカス設定となります

**⚠注意１：本機 または カメラの電源切断等により、液晶表示部のＭＦ(MANUAL FOCUS)表示
ＡＦ（AUTO FOCUS）表示と、カメラの設定状態が違う場合があります。
AUTO ボタンを押し、一度ＭＦ表示にしてからＡＦ表示にして下さい。
カメラがオート・フォーカス状態になります。**

**⚠注意２：フォーカスを自動(AUTO)に設定したにもかかわらず、自動(AUTO)でカメラが
動作しない場合は、時間をおいてから再度設定操作するか、または、カメラの
電源を再投入してください。**

５－４　ズームを手動(MANUAL)で制御する

CAMERA No.１～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦STOPボタンを押してから

TELE（望遠側）ボタンまたはWIDE（広角側）ボタンを押して調整してください。

**⚠注意：TELE（望遠側）ボタンを押し続けて、カメラが光学ズームの最大に達すると、
自動で光学ズームからデジタルズームに切換ります。**

５－５　カメラのパン（水平）、チルト（垂直）方向を変える

CAMERA No.１～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦STOPボタンを押してから

ジョイスティックを上下（チルト）左右（パン）に動かしてカメラの方向を変えます。
このときレバーの倒す角度によってカメラの移動速度が変化します。
倒す角度が大きいと速く移動し、角度が小さいとゆっくり移動します。

６．プリセット操作

プリセットとは、カメラに任意の画角と位置のデータを記憶させることです。
本機では、各カメラに対して個別に最大64ヶ所(0番～63番)のプリセットポイントを記憶させることが可能です。記憶させた番号のキーを押せばすぐに希望のカメラ映像が呼び出せます。プリセットデータは、カメラの不揮発メモリーに記憶されているため、カメラ及び本機の電源切断により、消えることはありません。

６－１　プリセットポイントを設定する

⚠**注意：本機では、プリセット番号の表示機能がないため、必ずプリセットした番号は、**
紙などにメモして下さい。
多数の設定する場合には、一覧表を作成することをお勧めします。

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

ジョイスティックとＺＯＯＭ操作でカメラ位置を決める（５－４項及び５－５項　参照）

［PRESET］ボタンを押すと「キロク？」と表示されるのでそのまま［ENTER］を押して、数字キーでプリセットポイントを入力して［ENTER］キーを押してください。

例）プリセット番号１２番に記憶する場合は

［PRESET］→［ENTER］→［１］→［２］→［ENTER］となります。

６－２　プリセットポイントを呼び出しする

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

数字キーでプリセットポイント番号を入力して［ENTER］キーを押してください。

例）プリセットポイント１２番を呼び出す場合は

［１］→［２］→［ENTER］となります。

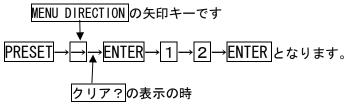
６－３　プリセットポイントを消去する

⚠**注意：一度に全てのプリセットポイントを消去することは出来ません。**

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます

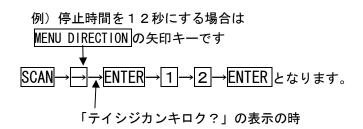
カメラが動作している場合は一旦 STOP ボタンを押してから

PRESET ボタンを押すと「キロク？」と表示されるので → キーを押して
「クリア？」と表示されたら ENTER キーを押して、消去したいプリセットポイント番号を
数字キーで入力し ENTER キーを押してください。

例）プリセットポイント１２番を消去する場合は

６－４　プリセットポイントのスキャン(自動巡回)動作停止時間を設定する

⚠注意１：設定したカメラはスキャン動作時に各プリセットポイントで同じ時間停止します。
⚠注意２：カメラ停止時間の設定は、３秒～９９秒まで可能です。これ以外の時間設定は、
行わないでください。（出荷時は３秒に設定されています）
⚠注意３：設定した停止時間を変更する場合も、この手順で行います。

CAMERA No. １～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦 STOP ボタンを押してから

SCAN ボタンを押し「ジッコウ？」と表示されるので → ボタンを押して「テイシジカンキロク？」
と表示されたら ENTER ボタンを押して、停止時間を数字キーで入力し ENTER ボタンを押して
ください。

６－５　プリセットポイントのスキャン動作を開始する

スキャン機能により、プリセットポイントを自動巡回して監視することが可能です。
巡回の順番はドームカメラ内に記憶したプリセットポイントの最も小さな番号から順に
巡回します。　また、最後（数字が最も大きいプリセット番号）に設定された
プリセットポイントの後には最初（数字が最も小さいプリセット番号）に設定された
プリセットポイントに戻って巡回を繰り返します。

⚠**注意１：スキャン動作中に本機　または、カメラの電源を切断、再投入すると
以下のように本機の表示とカメラの動作が合わなくなります。**

**①　スキャン動作中に本機の電源切断、再投入をした場合
カメラはスキャン動作を続けています。**

このときは、本機設定の「６－５　プリセットポイントのスキャン動作を開始する」を行って下さい。

②　スキャン動作中にカメラの電源切断、再投入をした場合
カメラはスキャン停止となります。
このときは、本機の STOP ボタンを押して下さい。再度本機設定の「６－５　プリセットポイントのスキャン動作を開始する」を行って下さい。

⚠**注意２：プリセット記憶されていない番号は無視します。**

⚠**注意３：映像スイッチャー機能（８項）と同期した連動はしません。**

CAMERA No. １～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦 STOP ボタンを押してから

SCAN ボタンを押し「ジッコウ？」と表示されるので ENTER ボタンを押してください。

例）スキャン動作を開始する場合は

SCAN→ENTER となります。
↑
「ジッコウ？」の表示

６－６　プリセットポイントのスキャン動作を停止する

スキャン動作をしているカメラ番号を選択してください（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号と「ストップキーデテイシ」と液晶表示部に表示されます

STOP ボタンを押す

６－７　プリセットポイントのスキャン動作を再開する

CAMERA No. １～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます

START ボタンを押す

⚠**注意：再開スタートの場合、停止位置に関係なくプリセットポイントの一番小さい番号からのスキャン再開となります。**

７．オートパン操作

オートパン(AUTO PAN)動作とは、カメラに設定した２ヶ所（プリセットポイントとは別に設定されます。）を連続往復移動する動作です。

⚠注意：オートパン動作中に本機の電源を切断、再投入すると、以下のように本機の表示とカメラの動作が合わなくなります。

① オートパン動作中に本機の電源切断、再投入をした場合
カメラはオートパン動作を続けています。
このときは、本機設定の「７－４　オートパン動作を再開する」を行って下さい。

② オートパン動作中にカメラの電源切断、再投入をした場合
カメラはイニシャライズ動作後、自動的にオートパン動作となります。

７－１　オートパンを設定する

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

［AUTOPAN］ボタンを押し「キロク？」と表示されるので［ENTER］ボタンを押してください。
「オートパン１キロク」､「エンターキー　デケッテイ」と表示したら
オートパン開始位置をジョイスティック＋ ZOOM でカメラ位置を設定（５－４，５－５項参照）して［ENTER］ボタンを押す。（開始位置が記憶されます）
次に「オートパン２キロク」､「エンターキー　デケッテイ」と表示したら
オートパン移動終了位置をジョイスティック＋ ZOOM でカメラ位置を設定して［ENTER］ボタンを押します。（終了位置が記憶されます）
「ストップキーデテイシ｣と表示されオートパン動作を開始します。
［STOP］ボタンを押すと停止します。

７－２　オートパン動作を停止する

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押して停止したいカメラを選んでください
（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます

［STOP］ボタンを押す

７－３　停電復帰後のオートパン動作を停止する

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押して停止したいカメラを選んでください
（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます

［AUTOPAN］ボタンを押し「キロク？」と表示されるの［→］ ボタンを押して「ジッコウ？」と表示されたら［ENTER］ボタンを押してください。
次に［STOP］ボタンを押すと停止します。

７－４　オートパン動作を再開する

CAMERA No.１～９のボタンを押して再開したいカメラを選んでください。
（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます

AUTOPANボタンを押し「キロク？」と表示されるの→ ボタンを押して「ジッコウ？」と表示されたらENTERボタンを押してください。

７－５　オートパン動作の移動速度を変える

CAMERA No.１～９のボタンを押して移動速度を変更したいカメラを選んでください。
（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動いている場合は一旦STOPボタンを押してから

AUTOPANボタンを押し「キロク？」と表示されるの→ ボタンを３回押して
「スピードセッテイ？」と表示されたらENTERボタンを押してください。

次に数字キーで１(遅い)～３（速い）のボタンを押して移動速度を選択してENTERボタンを押してください。

７－６　オートパン動作の停止時間を設定する

⚠注意１：カメラ停止時間の設定は、３秒～９９秒まで可能です。これ以外の時間設定は、行わないでください。（出荷時は３秒に設定されています）
⚠注意２：設定した停止時間を変更する場合も、この手順で行います。
⚠注意３：スキャンの停止時間とは別になっています。

CAMERA No.１～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦STOPボタンを押してから

AUTO PANボタンを押し「キロク？」と表示されるので→ ボタンを２回押して「テイシジカンキロク？」と表示されたらENTERボタンを押して、停止時間を数字キーで入力しENTERボタンを押してください。

例）停止時間を１２秒にする場合は
MENU DIRECTIONの矢印キーです
AUTO PAN→→→→→ENTER→１→２→ENTERとなります。
「テイシジカンキロク？」の表示の時

８．映像スイッチャー機能

８－１　映像の自動切換えを設定する（映像スイッチャー機能）

⚠**注意：個々のカメラ動作に関係なくカメラ映像出力を設定した時間間隔で自動的に**
切換えて出力します。

CAMERA SWボタンを押し「キロク？」と表示されるのでENTERボタンを押してください。
数字キーでCAMERA NO.１ ＋ENTER ・・９＋ENTERボタンで映像の見たいカメラを選んでください。接続してあるカメラ全部でも、見たいカメラだけでも複数選択することが可能です。
選択し終わったらもう一度ENTERボタン押します。
映像の自動切換えがスタートします。選んだカメラ番号順に表示を切換えます。

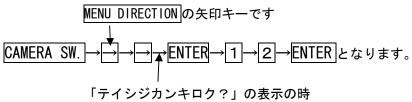
例えば　カメラ番号　３→１→９→８と設定した場合、自動切換えの映像も
カメラ番号　３→１→９→８→３・・・の順番で切換わります。

⚠**注意：カメラ番号の重複設定はできません。**

８－２　映像を自動切換えする時間を設定する（映像スイッチャー機能の時間設定）

⚠**注意１：切換え映像の表示時間は設定した各カメラ同じ時間です。**
⚠**注意２：映像表示時間の設定は、３秒～９９秒まで可能です。これ以外の時間設定は**
行わないでください。（出荷時は３秒に設定されています）
⚠**注意３：設定した切換え間隔時間を変更する場合も、この手順で行います。**

CAMERA SWボタンを押し「キロク？」と表示されるので→ ボタンを２回押して「テイシジカンキロク？」と表示されたらENTERボタンを押して、停止時間を数字キーで入力しENTERボタンを押してください。

例）停止時間を１２秒にする場合は

８－３　映像の自動切換えを停止、再開する

①　映像の自動切換えを停止する

STOPボタンを押す

②　映像の自動切換えを再開する

CAMERA SWボタンを押し「キロク？」と表示されるので→ ボタンを押して「ジッコウ？」と表示されたらENTERボタンを押す。映像の自動切換えが再開します。

９．その他の機能

９－１　映像タイトル設定

本機の映像出力には、各カメラ毎に英数字で１５文字までのタイトルを設定表示できます。
この機能を使用しますと、現在の画像がどの場所のカメラか非常にわかりやすくなります。

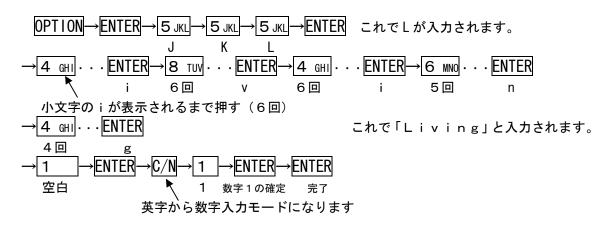
⚠**注意：本機の電源切断、再投入するとタイトルが表示されます。**

CAMERA No.１～９のタイトルを設定したいカメラ番号ボタンを押す
（既に選択されている場合は不要）
・・選択したカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦STOPボタンを押す。

OPTIONボタンを押し「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるのでENTERボタンを押してください。
液晶下段左の最初のカーソル位置から文字が入力できます。
最初はアルファベット入力モードになっています。数字入力に切換えたいときはC/Nボタンを押しますと切換えできます。
もう一度C/Nボタンを押しますとアルファベット入力モードに戻ります。
英字／数字で入力したい文字を選んでENTERで確定してください。入力が完了したら再度ENTERボタンを押すと確定され入力文字がモニターに表示可能となります。

入力可能文字

ボタン	英字入力モード	数字入力モード	ボタン	英字入力モード	数字入力モード
	C／Nで切換え			C／Nで切換え	
1	スペース[空白]	1	6 MNG	Ｍ Ｎ Ｏ ｍ ｎ ｏ	6
2 ABC	Ａ Ｂ Ｃ ａ ｂ ｃ	2	7 PQRS	Ｐ Ｑ Ｒ Ｓ ｐ ｑ ｒ ｓ	7
3 DEF	Ｄ Ｅ Ｆ ｄ ｅ ｆ	3	8 TUV	Ｔ Ｕ Ｖ ｔ ｕ ｖ	8
4 GHI	Ｇ Ｈ Ｉ ｇ ｈ ｉ	4	9 WXYZ	Ｗ Ｘ Ｙ Ｚ ｗ ｘ ｙ ｚ	9
5 JKL	Ｊ Ｋ Ｌ ｊ ｋ ｌ	5	0	ー	0

例）「Living 1」と表示させたいとき

⚠注意１：入力文字を間違えたとき、修正したい時は ESC/DEL や→、←を使用してください。
⚠注意２：記入済みのタイトルを変更する場合も、上記手順で行います

９－２　カメラ番号、映像タイトルをモニターに表示する

カメラ番号や、映像タイトル（設定してある場合）をモニターに表示させるには
OSD ON/OFF ボタンを押す。もう一度押すと表示しなくなります。

９－３　「day mode」と「day/night mode」設定

「day/night mode」：このモードは、夜間等周囲が暗くなったときに、カメラＩＲカット
フィルターを自動的に OFF（白黒高感度）にして、映像を見やすく
するモードです。

「day mode」　　：このモードは、周囲の明るさに関係なく常にカラー映像となります。

⚠注意１：カメラの機能設定スイッチが「day mode」に設定されていると
本機からの設定変更は行えません。

⚠注意２：「day mode」「day/night mode」の設定変更を行うと EIS 機能、WDR 機能が解除されます。本機から再設定してください。

①「day mode」の設定方法

CAMERA No. １～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦 STOP ボタンを押してから

OPTION ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので
C/N ボタンを押しながら→ボタンを１回押して下さい。「ｄａｙ ｍｏｄｅ」と表示されたら
ENTER ボタンを押します。
「day mode」設定中は、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され
カメラリセットが行われ、５秒程度映像が途絶えます。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」と表示されたら設定完了です。

②「day/night mode」の設定方法

CAMERA No. １～９のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
・・選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されます
カメラが動作している場合は一旦 STOP ボタンを押してから

OPTION ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので
C/N ボタンを押しながら→ボタンを２回押してください。「ｄａｙ／ｎｉｇｈｔ ｍｏｄｅ」と表示されたら ENTER ボタンを押します。
「day/night mode」設定中は、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され
カメラリセットが行われ、５秒程度映像が途絶えます。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」と表示されたら設定完了です。

⚠注意：「day mode」、「day/night mode」を使用する上での注意点

ａ．カメラ電源投入時のＩＲカットフィルター動作モードは、カメラの機能設定スイッチによります。詳細はカメラの取扱説明書をお読み願います。
（カメラが自動的に照度に応じてフィルター動作をＯＮ／ＯＦＦ制御しています。）
尚、ＩＲカットフィルターのＯＮ／ＯＦＦ動作が過敏にならない様に動作照度に幅（ヒステリシス）を持たせているため、ＯＮ／ＯＦＦする照度は異なります。
ｂ．「day mode」に設定した場合（ＩＲカットフィルターをＯＮ）、カメラのＩＲカットフィルター動作はマニュアルモードでＯＮに固定されるため、撮像する周囲が暗くなった場合でも自動でＯＦＦ（映像が白黒高感度）されません。
本機から「day/night mode」に戻してください。
ｃ．「day/night mode」設定時にＩＲカットフィルターが自動でＯＮ／ＯＦＦするたびに、カメラからカチカチとした音がします。
ｄ．ＩＲカットフィルターの動作に時間がかかることがあります。

９－４　「EIS ON」と「EIS OFF」設定

振動補正機能(EIS)は、画像の揺れをデジタル補正できる機能です。

PAN、TILT 操作すると、一瞬映像が動くことが有ります。

「EIS ON ｼﾞｯｺｳ」設定しますと、液晶表示部の上段右側に「E」と表示されます。
「EIS OFF ｼﾞｯｺｳ」設定しますと、「E」の表示が消えます。

この設定は、本機に記憶されます。本機の電源投入後、カメラに再設定されます。

⚠注意１：EIS 機能を使用すると、WDR 機能は解除されます。
ただし、本機の液晶表示部には WDR 設定されているように表示されます。

⚠注意２：カメラ DMP-1235 専用の機能です。
カメラ DMP-1223 では設定できません。
ただし、本機の液晶表示部には設定されているように表示されます。

①「EIS ON」の設定方法

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す(既に選択されている場合は不要)
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

［OPTION］ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので［C/N］ボタンを押しながら［→］ボタンを３回押してください。「ＥＩＳ ＯＮ ジッコウ」と表示されたら［ENTER］ボタンを押します。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」となったら設定完了です。

②「EIS OFF」の設定方法

CAMERA No.１～９のボタンを押す(既に選択されている場合は不要)
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦STOPボタンを押してから

OPTIONボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので
C/Nボタンを押しながら→ボタンを４回押してください。「ＥＩＳ ＯＦＦ ジッコウ」と表示されたらENTERボタンを押します。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」となったら設定完了です。

９－５　「WDR ON」と「WDR OFF」設定

ワイドダイナミックレンジ機能(WDR)は、明るさの差が大きい被写体を撮る場合、一部が暗すぎたり、明るすぎたりしないように明るさを補正する機能です。
明るさの差を自動的に判断して、暗い部分を明るく、明るすぎる部分は暗めに映し出します。

「WDR ON ｼﾞｯｺｳ」設定しますと、液晶表示部の上段右側に「W」と表示されます。
「WDR OFF ｼﾞｯｺｳ」設定しますと、「W」の表示が消えます。

この設定は、本機に記憶されます。本機の電源投入後、カメラに再設定されます。

⚠注意：DMP-1235では「EIS ON」設定しますと、WDR機能は設定されません。
ただし、本機の液晶表示部にはWDR設定されているように表示されます。

①「WDR ON」の設定方法

CAMERA No.１～９のボタンを押す(既に選択されている場合は不要)
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦STOPボタンを押してから

OPTIONボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので
C/Nボタンを押しながら→ボタンを５回押してください。「ＷＤＲ ＯＮ ジッコウ」と表示されたらENTERボタンを押します。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」と表示されたら設定完了です。

②「WDR OFF」の設定方法

CAMERA No.１～９のボタンを押す(既に選択されている場合は不要)
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦STOPボタンを押してから

OPTIONボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので
C/Nボタンを押しながら→ボタンを６回押してください。「ＷＤＲ ＯＦＦ ジッコウ」と表示されたらENTERボタンを押します。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」となったら設定完了です。

９－６「ﾌﾚｰﾑ ON」と「ﾌﾚｰﾑ OFF」設定

映像信号をフレーム出力にします。
通常の映像信号では、１フレームの映像（１枚の映像とお考えください。）は奇数フィールドと偶数フィールドの２枚の映像で構成されてます。
通常この奇数フィールドと偶数フィールドで時間差が有り映像に若干のズレが生じます。
フレーム出力機能(ﾌﾚｰﾑ)を使用すると、奇数フィールドと偶数フィールドのズレが無くなり、被写体の斜めのエッジなどに見られるギザギザ感が低減されます。

本機と日立製作所製ＤＶＲ（対象機種 DS-G350,DS-G250)を接続（RS-232C)される場合、カメラをﾌﾚｰﾑ ON にした時は、DVR のカメラ種別設定を「プログレッシブ」にしてください。
詳しくは、ＤＶＲの取扱説明書をお読み願います。

この設定は、カメラに記憶されます。

⚠注意：カメラ DMP-1235 専用の機能です。
カメラ DMP-1223 では設定できません。

①「ﾌﾚｰﾑ　ON」の設定方法

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す(既に選択されている場合は不要)
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

［OPTION］ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので［C/N］ボタンを押しながら［→］ボタンを７回押してください。「フレーム　ＯＮ　ジッコウ」と表示されたら［ENTER］ボタンを押します。
「ﾌﾚｰﾑ ON」設定中は、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され
カメラリセットが行われ、５秒程度映像が途絶えます。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」と表示されたら設定完了です。

②「ﾌﾚｰﾑ　OFF」の設定方法

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す(既に選択されている場合は不要)
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

［OPTION］ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので［C/N］ボタンを押しながら［→］ボタンを８回押してください。「フレーム　ＯＦＦ　ジッコウ」と表示されたら［ENTER］ボタンを押します。
「ﾌﾚｰﾑ OFF」設定中は、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され
カメラリセットが行われ、５秒程度映像が途絶えます。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」となったら設定完了です。

９－７「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ ON」と「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ OFF」設定

カメラ DMP-1235 専用の特殊機能です。ＣＣＤ（撮像素子）の駆動方式を変更します。
「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ ON」
Progressive mode（２倍速独立読み出し方式）：工場出荷設定です。
「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ OFF」
Interlace mode（１倍速画素混合読み出し方式）：ＣＣＤの感度アップをします。
被写体が暗い場合にお試し下さい。WDR 機能、フレーム出力機能は、設定できません。

この設定は、カメラに記憶されます。

⚠注意：カメラ DMP-1235 専用の機能です。
WDR 機能、フレーム出力は設定できません。また、垂直解像度が減少します。

①「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ ON」の設定方法

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

［OPTION］ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので［CAM］ボタンを押しながら［→］ボタンを１回押してください。「プログ．ＯＮ　ジッコウ」と表示されたら［ENTER］ボタンを押します。
「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ ON」設定中は、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され
カメラリセットが行われ、５秒程度映像が途絶えます。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」と表示されたら設定完了です。

②「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ OFF」の設定方法

CAMERA No.［１］～［９］のボタンを押す（既に選択されている場合は不要）
‥選択されたカメラ番号が液晶表示部に表示されています。
カメラが作動している場合は一旦［STOP］ボタンを押してから

［OPTION］ボタンを押し「オプションモード」、「エイゾウタイトルセッテイ？」と表示されるので［CAM］ボタンを押しながら［→］ボタンを２回押してください。「プログ．ＯＦＦ　ジッコウ」と
表示されたら［ENTER］ボタンを押します。
「ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞ OFF」設定中は、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され
カメラリセットが行われ、５秒程度映像が途絶えます。
液晶表示部に「マニュアルオペレーション」となったら設定完了です。

９－８　「アラーム入力」と「アラーム入力解除」方法

①外部アラーム入力設定について

外部からカメラへアラーム信号が入力されたとき、予めカメラに設定したプリセット
ポイントへ移動することができます。プリセット番号は６４～６７の４箇所です。
詳細はカメラの取扱説明書をお読み願います。

②アラーム入力が発生したとき

本機はカメラのアラーム入力と連動して液晶表示部に「アラームＳ１２３４」、「シバラクオマチクダサイ」と、アラームが発生したことをお知らせ致します。
「アラームＳ１２３４」下線部の１～４の数字は、カメラのアラーム入力端子の番号を表します。アラーム入力が発生した番号のみ表示します。
モニターにオンスクリーン表示を設定されている場合は、モニターに「アラームイン」と表示されます。

③アラーム入力解除について

カメラにアラームが入力されると、通常ではアラームが入力されている間は本機で通常の操作を行うことは出来ません。
その為、アラーム入力中でも一時使用したい場合は以下の方法によりのアラーム入力の解除を行う事ができます。

CAMERA No.１～９のボタンを押してアラーム入力を一時解除したいカメラを選んでください。（既に選択されている場合は不要）
・・CAMERA NO.選択後、液晶表示部に「アラームＳ１２３４」、「シバラクオマチクダサイ」と表示されます。

OPTIONボタンを押すと、［アラームカイジョ？］というメニューが表示されるので

ENTERボタンを押してください、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示後に解除となります。

アラーム入力解除実行中は本体液晶部に「アラームカイジョチュウ」、「ストップキーデシュウリョウ」と表示されます。
アラーム入力解除実行中は、カメラのPAN、TILT、ZOOM、FOCUS操作のみ出来ます。

⚠注意：アラーアラーム入力を解除しますと、カメラがアラーム入力以前の位置に戻ります。
カメラが戻ってから本機の操作を行ってください。

④アラーム入力解除の終了について

終了はSTOPボタンを押してください、「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示後に解除となります。

⚠注意：本機のアラーム入力解除は、カメラのアラーム入力を解除しても自動的に
アラーム入力解除を終了しません。
アラーム入力解除を行った後は、必ず手動操作にてアラーム入力解除を終了してください。

１０．ＤＶＲの映像を切換える機能

本機と日立製作所製ＤＶＲ（対象機種：DS-G350、DS-G250）を接続（ＲＳ－２３２Ｃ）し連動することにより、本機の映像切換え機能をＤＶＲの映像出力で行えます。
カメラ最大１６台（対象機種：DS-G350 を使用）までの手動操作時の映像切換え、８項（映像スイッチャー機能）と同期した自動映像切換えを行います。

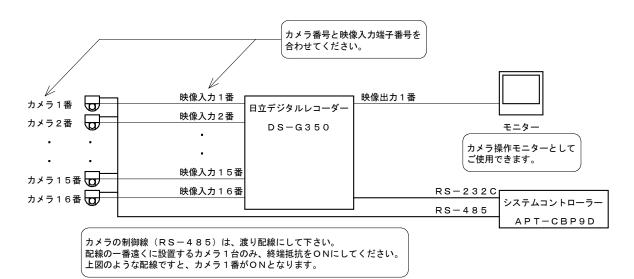
⚠注意１：ＤＶＲにて分割表示するときや録画映像を再生するときは、連動を解除してください。連動中は、ＤＶＲの手動操作は出来ません。
詳しくは、ＤＶＲの取扱説明書をお読み願います。

⚠注意２：映像線は、カメラ番号とＤＶＲ映像入力端子番号と合わせてください。
例：１番に設定したカメラの映像線は、ＤＶＲ映像入力端子１番に接続。

・本機　ＲＳ－２３２Ｃ端子とＤＶＲ　ＲＳ－２３２Ｃ端子を接続するケーブルは、別途ご用意して下さい。（ＲＳ－２３２Ｃクロスケーブル）

・本機使用コネクタ
コネクタ　　　Ｄ－ＳＵＢ９ピン
ピンアサイン　①：ＮＣ　②：ＲＤ（ＲＸ）　③：ＳＤ（ＴＸ）　④：ＤＴＲ　⑤：ＧＮＤ
⑥：ＤＳＲ　⑦：ＲＴＳ　⑧：ＣＴＳ　⑨：ＮＣ
但し、④と⑥は短絡、⑦と⑧は短絡。

・本機液晶表示部の表示
「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ ON ｼﾞｯｺｳ」設定しますと、液晶表示部の上段右側に「R」と表示されます。
「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ OFF ｼﾞｯｺｳ」設定しますと、「R」の表示が消えます。

システム配線例

本機とＤＶＲを接続（ＲＳ－２３２Ｃ）するケーブルの配線

ＤＶＲ側コネクタ D-SUB 9pin ソケット（メス） (勘合ねじ：＃４－４０)		配線		本機側コネクタ D-SUB 9pin ソケット（メス） (勘合ねじ：Ｍ２．６)	
CD	1pin			1pin	NC
RD(RX)	2pin	3pinへ	3pinへ	2pin	RD(RX)
SD(TX)	3pin	2pinへ	2pinへ	3pin	SD(TX)
DTR	4pin			4pin	DTR
GND	5pin	5pinへ	5pinへ	5pin	GND
DSR	6pin			6pin	DSR
RTS	7pin			7pin	RTS
CTS	8pin			8pin	CTS
NC	9pin			9pin	NC

1pin-4pin-6pin間、7pin-8pin間は、
ＤＶＲ内部でショートしています。

4pin-6pin間、7pin-8pin間は、
本機内部でショートしています。

１０－１　「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ ON」の設定方法（ＤＶＲと連動する）

CAMERA SWボタンを押し「カメラＳＷモード」「キロク？」と表示されるのでC/Nボタンを押しながら→ボタンを１回押して下さい。「ＤＶＲレンドウ」「ＤＶＲレンドウ ＯＮ ジッコウ」と表示されたらENTERボタンを押してください。
液晶表示部の上段右側に「R」と表示されたら設定完了です。

⚠注意：「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ ON」設定しますと、ＤＶＲの手動操作が出来なくなります。

１０－２　「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ OFF」の設定方法（ＤＶＲとの連動を解除する）

CAMERA SWボタンを押し「カメラＳＷモード」「キロク？」と表示されるのでC/Nボタンを押しながら→ボタンを２回押して下さい。「ＤＶＲレンドウ」「ＤＶＲレンドウ ＯＦＦ ジッコウ」と表示されたらENTERボタンを押してください。
液晶表示部の上段右側の「R」表示がきえたら設定完了です。

「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ OFF」設定後、１分程度待ってからＤＶＲの手動操作を行ってください。

⚠注意：「DVR ﾚﾝﾄﾞｳ OFF」設定しても１分程度の間、ＤＶＲが手動操作を禁止しています。

１０－３　ＩＤ、パスワードの設定方法

ＲＳ－２３２Ｃで制御を行うために、ＤＶＲに特権ログインのＩＤ、パスワードを設定する必要があります。詳しくは、ＤＶＲの取扱説明書をお読み願います。
本機にも、ＤＶＲに設定されたＩＤ、パスワードと同じＩＤ、パスワードを設定する必要があります。
本機で設定できるＩＤ、パスワードは、英数　６～２０文字です。この範囲でＤＶＲのＩＤ、パスワードを設定してください。

ＩＤ、パスワードの設定

CAMERA SWボタンを押し「カメラＳＷモード」「キロク？」と表示されるのでC/Nボタンを押しながら→ボタンを３回押して下さい。
「ＤＶＲレンドウ」「ＤＶＲレンドウ　ＩＤ　キロク」と表示されたらENTERボタンを押してください。「ＩＤキロク」「スウジキー　デ　センタク」と表示されます。

この表示のときにＩＤを設定して下さい。
入力方法は、９－１．映像タイトル設定をご覧下さい。
液晶表示部の上段に「ＩＤキロク」と表示、下段に「ＡＢＣａｂｃ１２３」など入力された英数が表示されます。

入力が終了されたらENTERボタンを押してください。「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示され、次に「パスワードキロク」「スウジキー　デ　センタク」と表示されます。

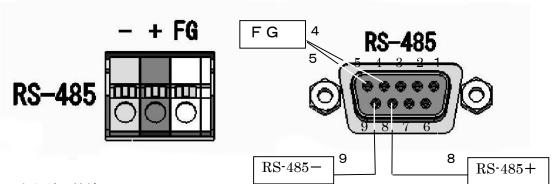
この表示のときにパスワードを設定して下さい。
入力方法は、９－１．映像タイトル設定をご覧下さい。
液晶表示部の上段に「パスワードキロク」と表示、下段に「ＡＢＣａｂｃ１２３」など入力された英数が表示されます。

入力が終了されたらENTERボタンを押してください。「セッテイチュウデス」、「シバラクオマチクダサイ」と表示されます。

液晶表示部が「マニュアルオペレーション」など、カメラ操作画面に戻ると設定完了です。

⚠**注意１：記入済みのＩＤ、パスワードを変更する場合も、上記手順で行います。**

⚠**注意２：ＤＶＲには、本機で設定できない記号や文字数が設定できます。**
本機の設定可能範囲内で設定して下さい。連動できなくなります。

１１．接続方法

１１－１．制御線の接続

⚠注意１：本機にはＲＳ－４８５コネクタが２種類用意されていますので、どちらか
結線のしやすい方を使用してください。但し両方同時には使用しないで
下さい。カメラが誤動作する可能性があります。
⚠注意２：配線するケーブルは、ツイストペア・シールド線を推奨します。
⚠注意３：複数の旋回台を接続する場合は、制御線は渡り配線で結線してください。

① 本機背面の「RS-485」と表記された左側コネクタを使用する場合、本機コネクタの
＋（中央の端子）とカメラ側の「RS-485＋」と表記された制御信号入力端子と結線し、
－（左の端子）とカメラ側の「RS-485－」と表記された制御信号入力端子とを結線
してください。

② 本機背面の「RS-485」と表記されたコネクタ（Ｄサブ９ピン）を使用する場合、
この「８番ﾋﾟﾝ」とカメラ側の「RS-485＋」と表記された制御信号入力端子と結線し、
「９番ﾋﾟﾝ」とカメラ側の「RS-485－」と表記された制御信号入力端子とを結線し
てください。

１１－２．映像線の接続

本機背面の「CAM１～CAM９」と表記された映像入力端子（BNC 型コネクタ）とカメラ側の「VIDEO」
と表記された映像出力端子（BNC 型コネクタ）とを接続します。
本機背面の「VIDEO　OUT１又はVIDEO　OUT２」と表記された映像出力端子（BNC 型コネクタ）と
モニター側の映像入力端子とを接続します。

１１－３．電源線の接続

本機背面の「DC 24Ｖ」と表記されたジャックに同梱のＡＣアダプタのプラグを差込みます。

⚠注意：同梱品以外のＡＣアダプタをご使用での本製品の故障については、弊社では責任を
負いかねます。　又、ＡＣアダプターを改造しないでください。

１２．保証とアフターサービス

● 保証書の保管
この製品は、保証書を別途添付しておりますので、必要事項をご記入の上、大切に保存してください。

● 保証期間
保証期間はお買上げの日より１年間です。

● 修理を依頼されるときは
本誌の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪い場合は、お買上げの販売店に次のことをお知らせください。

＊ メーカー名・品名・型名
＊ お名前・おところ
＊ 電話番号
＊ 故障症状を詳しく

● 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間
弊社は、本機の補修用性能部品を製造打切後８年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

１３．主な仕様

No	項　　目	内　　　容
１	適合カメラ内蔵型旋回台	ＤＭＰ－１２２３、ＤＭＰ－１２３５
２	設置条件	屋内水平
３	使用電源	付属専用ACアダプター(DC24V出力)　AC100V　50/60Hz
４	消費電流	100mA以下（旋回台動作時）
５	動作温度・湿度	温度：0～40℃、湿度：35～90%（但し、結露なき事）
６	保存温度・湿度	温度：－10～60℃、湿度：35～90%（但し、結露なき事）
７	外形寸法	幅：270㎜、奥行：192㎜、高さ：65㎜（突出部を除く）
８	質量	本体：1.25kg（附属品含まず）
９	コントロール信号	RS485準拠、シリアル信号、専用プロトコル
１０	旋回台制御台数	９台
１１	制御線距離	1200m（渡り配線による総延長距離）以下
１２	送信方式	双方向
１３	転送速度	9600bps（固定）
１４	ビデオ入力	９系統（カメラ９台）　１Vp-p　７５Ω
１５	ビデオ出力	２系統（同一映像）　１Vp-p　７５Ω

製造元

株式会社　トキナー

セキュリティ製品部

〒354-0043　埼玉県入間郡三芳町竹間沢３４５－１

ＴＥＬ　（０４９）２５９－９９５０

ＦＡＸ　（０４９）２５９－９９５１